



FARM BOX CUBE

330 / 410

取扱説明書

製造販売

東北資材工業株式会社 **あぐりっとファーム**

〒028-3101

岩手県花巻市石鳥谷町好地 12-28-1

TEL : 0198-46-2811 FAX : 0198-46-2812

URL <https://tohoku-shizai.ftw.jp>

FARM BOX CUBE をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

ホームページにて情報を確認することが出来ます。
<http://www.agurittofarm.com>

責任の範囲

- 植物栽培における生育については、お客様の責任のもと実施してください。
- 製品の使用に際して、水漏れ・その他の異常に対する損害が発生しても、当社といたしましては一切の責任は負いません。

ご使用上のご注意

※製品を安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。
本文をお読みいただき記載事項を必ずお守りください。

- ⊗ 引火性のものおよび高温になるものの近くでの使用はしないでください。
火災の原因になります。
- ⊗ 本体に水が入ると重量が増すため設置場所を移動させる場合は、水を抜いてから行ってください。
腰痛・けが等の原因になります。
- ⊗ 発泡スチロール製品のため、製品に乗ったり、一部を持って引っ張る等しないでください。
破損・けがの原因になります。
- ⊗ 紫外線により製品の色あせが発生しますが、使用に際しては特に問題ありません。
紫外線劣化によるものです。
- ⊗ 屋内で使用される場合は、水漏れにご注意ください。
水の入れすぎに注意して下さい。

●製品内容

※商品改良により、仕様や外観、付属品外観も含め変更になる場合があります。
本書のイラストや写真と形状が若干異なる場合がありますのでご了承ください。

●製品の特長

本製品は、下にある溶液槽から液肥を上へ吸い上げ、ポリポット内に必要な水分と肥料を供給する事で植物の生育を行うものです。
また、成長とともに根がポット内にとどまらず、水を求めてポットの穴から下の溶液槽に伸びて行き、根が大きく育つ事で成長が促進されます。

●セット付属部品

	FARM BOX CUBE 330	FARM BOX CUBE 410
部品名	数量	数量
1. 育成パネル	1個	1個
2. 溶液槽	1個	1個
3. ポリポット	5個	5個
4. 鉢底ネット	5個	5個
5. 水やりテープ	1袋 (65cm×3本)	1袋 (65cm×3本)
6. 水位計	1個	1個

●本体仕様

	FARM BOX CUBE 330	FARM BOX CUBE 410
寸法 (幅×高×奥)	33×33×33 (cm)	41×41×41 (cm)
重量	830 g	1450 g
水の量	約 8.0 ℓ	約 20.0 ℓ
水を入れた重量	約 8.8 kg	約 21.5 kg

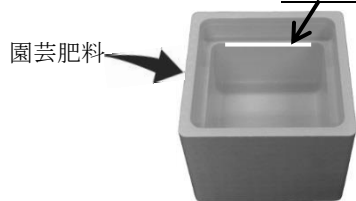
●セット付属部品

※① ②は、紫外線により色あせしますが、機能には影響いたしません。

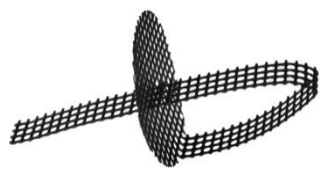


●使用方法

1. 溶液槽の段差部分まで水を入れ、園芸肥料を栽培する物に合わせ、記載されている割合でうすめてください。 **段差部分**



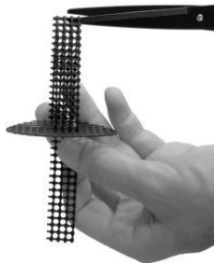
2. 鉢底ネットを下図のようにカットされている部分に通してください。



3. 育苗ポットに合わせてみて、土を入れた際に土から出ないように鉢底ネットの高さを調整してください。
(土の高さよりも **2cm** ほど低くする)



4. 高さを合わせたら先端を折り曲げて、ハサミで **半分をカットしてください**。(注意：全部切らない事)



5. 水やりテープ1本・65cmを半分にカットし約32.5cmにします。

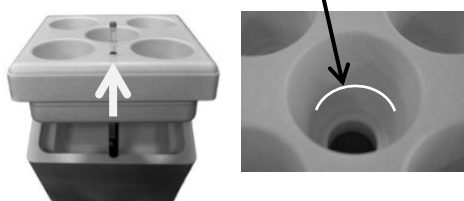
6. 半分にカットした水やりテープを、鉢底ネットに右図のように通し、ハサミでカットした部分にはさみます。
(水やりテープは濡れた状態で使用してください)



7. 育苗ポットにセットします。これを、5個つくります。



8. 水位計を育苗槽の下側から差し込み、育成パネルを閉じ、**けがき線**まで水をたしてください。

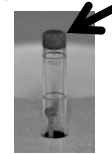


ポイント：植物が大きく育つため中心を空けて使用し液肥・水補充に使用すると便利です。開いた穴から溶液槽に光が入らないようにふさいでください。

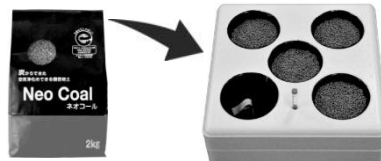
9. 5個つくったポリポットの水やりテープを、育成パネルの穴から下にたらすようにセットします。



10. 水が十分に入っているのに、水位計の目盛が上がってこない場合は、赤いキャップを半回転回すと外れます、中の空気を抜いてください。
目盛が MAX 以上に上がりますが問題ありません、キャップを戻せばOKです。



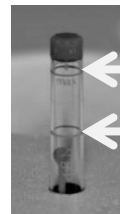
11. 水やりテープが出ない程度に園芸培土をポリポットに入れます。



12. 種を土にまきまいたら、土に水をかけてください。
※土全体を一度濡らす事で、下から水を吸い上げるための呼び水になります。
※種まきについては、種袋の裏側をご確認ください。



13. 下のラインよりも目盛が下がったら、植物の生育状況により水、又は液肥を記載されている割合にうすめてもらい、育苗ポットを少し持ち上げて隙間から給水をしてください。(ペットボトルを使うとうすめる割合が分かりやすいです)



MAX ライン

下のラインよりも目盛が下がったら、MAX ラインまで給水をしてください。
入れすぎるとあふれてしまいますので注意してください。

注意：育苗槽に5カ所で栽培出来るように穴が開いていますが、5カ所を全て使用しない場合は、開いた穴から溶液槽に光が入らないようにふさいでください。
液肥に光があたると、青子発生の原因になります。